



温故知新

校長 倉本 恵

6月24日、25日に6年生と「日光修学旅行」に行ってきました。昨年度までの「赤城日光宿泊体験学習」は、赤城と日光の自然と触れあい、伝統工芸を体験してものづくりへの興味関心を深め、世界遺産見学を通して歴史への理解を深める、という内容でした。どの活動も有意義なのですが、バスでの移動にかかる時間を減らし、活動自体に時間をとって内容を充実させたい等の理由で、行先を日光に絞ることが数年前から検討されてきました。コロナ禍で、保護者の方に万が一お迎えに来ていただくことになった場合や、病院や保健所との連携も考慮し、今年度より日光市内での宿泊に変更しました。

私世代の横浜の小学校の修学旅行スタイルに戻ることに、少なからず抵抗のあった私ですが、たっぷり時間をかけて東照宮内をじっくり見学する今年の6年生の姿を間近で見て、このスタイルに手ごたえを感じることができました。(写真は中面に掲載)

6月28日は、1年生の「駅前花壇」(JA 港南前)の活動が行われました。この活動は、平成18年から本校児童とフラワーサポーターズの方で続けてきましたが、持続可能で地域とつながる活動にしたいと考え、昨年度、港南区役所と土木事務所に協力を依頼しました。土をふかふかに耕して肥料を入れたり、水道やホースを設置してくださったり、おかげでとても活動がしやすくなりました。花壇にはJA 横浜花き部の方が育てた花と港南区の花ヒマワリが咲き、近隣の方だけでなく、バスや駅を利用する方からもすてきな花壇だとお褒めの言葉をいただくこともありました。

しかし、そもそも「駅前花壇」になったのは、あの場所にあった植え込みの枝葉が伸びてくると交差点の視界が遮られて危険、という理由がありました。夏の日差しを受け、草丈1mを超えて輝くヒマワリは見ごたえがありましたが、本来の理由に立ち戻り、駅に向かって左側の花壇にだけ、今年はヒマワリを植えることにしました。

今年の苗は、港南区がひまわり交流事業をしている宮城県大崎市からいただいた種を、1年生と6年生がたてわり活動の一環として5月から学校のベランダで育てたものです。



苗を植える活動は、JA・区役所・土木事務所・地域ケアプラザ、丸山台長寿会、いちょう坂商店会の方々と本校1年生および職員で行いました。今後の水やりや雑草抜きは、昨年同様1年生保護者を中心としたボランティアといちょう坂商店会の方々にフラワーサポーターズとして協力をいただきながら、活動を進めます。



今までの由来を知ることから始め、今の本校にあった教育活動を構築していくことの意味を感じた6月でした。

梅雨が明け、6月というのにすでにうだるような暑さが続いています。朝から熱中症指数が上昇し、体育の授業や休み時間の外遊び等ができない日も出てきました。コロナの感染拡大は残念ながら収束したわけではなく、熱中症だけでなくインフルエンザ流行も報道されるようになってきました。今の状況にあった対策をしながら、健康に気を付けて夏を過ごしましょう。